

# 感染状況・医療提供体制の分析(7月20日時点)

【岡山県専門家有志】  
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (7月13日時点)	現在の数値 (7月20日時点)	前回との比較	分析コメント		
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	3570人 (190.2人)	6813人 (363人)	→	<p>レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり363人</u>と倍増。全年齢層で患者数が増加しているが、60歳以上が占める割合も増加。クラスターも多数発生。</p> <p>全国的にこれまでに最も高い感染レベルとなるなど、感染が急拡大。感染力が強く、再感染をきたしえるBA5への置き換わりが岡山でも進み、今後も陽性者の増加が見込まれる。屋内でのマスク着用、室内換気、手指衛生、ワクチン接種など感染対策再強化を。</p>		
		60歳以上 (総数に占める割合)	370人 (10%)	850人 (12%)	→			
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	2136人	4025人	→			
		県南西部	1053人	2028人	→			
		高梁・新見	26人	65人	→			
		真庭	28人	100人	→			
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	881人 (調査中を除く)	1473人 (調査中を除く)		→	
			割合 (③/①)	42.9% (調査中を除く)	42% (調査中を除く)		→	
	医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		70人 (13%)	122人 (22%)		→	医療提供体制コメント レベル3. 体制が逼迫しつつあると思われる
		⑤宿泊療養者数		125人	193人		→	入院加療が難しくなっている。発熱外来や救急医療への影響の出現、また医療従事者の感染も増加し、医療が逼迫し始めている。今後、感染者総数、特に高齢者の感染者数の増加とともに、通常医療の提供が困難になる可能性もある。
⑥自宅療養者数		2821人	5484人	→				
⑦重症者数		0人	1人	→				